

コープの エシカル =Ethical=

それは誰かの笑顔につながるお買い物

2023



本レポートは、環境に配慮した印刷方式を採用しています。



この用紙は、FSC®認証材および
管理原材料から作られています。



日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ
メールアドレス: goods.kouhou@jccu.coop

- 商品の取り扱いには会員生協ごとに異なります。
- 掲載内容は発行時点の情報となります。

2023年3月制作

未来に向かうための目標



持続可能な開発目標 **SDGs**とは～

今、私たちの地球・社会は、さまざまな問題を抱え危機にさらされています。

|| とり過ぎ…海と森の持続可能性の危機



世界の水産資源の約35%が「とり過ぎ」
水産資源は卵や子を生み繁殖するので、再生する量や速さを考えて利用すれば「持続可能」ですが、乱獲などを行えば資源は枯渇し、再生する力も失われます。



日本は紙を作るのも使うのも世界第3位。原料は海外の木材から

地球では森林が急速に失われています。2015年～2020年の間に約1億2,900万ヘクタールの森林が失われており、これは2.2秒ごとにサッカー場一面分の森林が減少していることになります。
※資料：2020年国連食糧農業機関(FAO)より算出

|| 捨て過ぎ…プラスチック問題



増加する使い捨てプラと海洋ごみ
環境中に流出したプラスチックのほとんどは最後に「海」に行きつきます。世界の海のプラごみは1億5,000万トンといわれ、さらに年間800万トンが新たに流入しています。
※ <https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3776.html>

|| 出し過ぎ…CO₂排出による地球温暖化



温暖化が引き起こすさまざまな問題
地球温暖化は気温上昇のみならず地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こします。そして異常気象や海面上昇、干ばつによる食料不足などをもち、人間の生活(特に途上国)に大きな影響を与えます。

SDGsとは、これらの問題に対して今、全世界が取り組むべき課題として、2015年9月国連において採択された目標です。「誰一人取り残さない社会の実現」や「持続可能な地球環境」を目指し、将来にわたってこの地球上で人間らしく生活し続けるために必要な17の目標が掲げられています。生協ではSDGsの趣旨に賛同し目標の実現に貢献するため、2018年6月、日本生協連第68回通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コープSDGs行動宣言 — 私たちは、以下の7つの取り組みを通じて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます



健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます



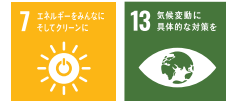
誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します



16 平和と公正をすべての人に
核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します



1 貧困をなくそう
世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

5 ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します



エシカル消費はSDGsの達成手段!

～消費で変えられる未来～

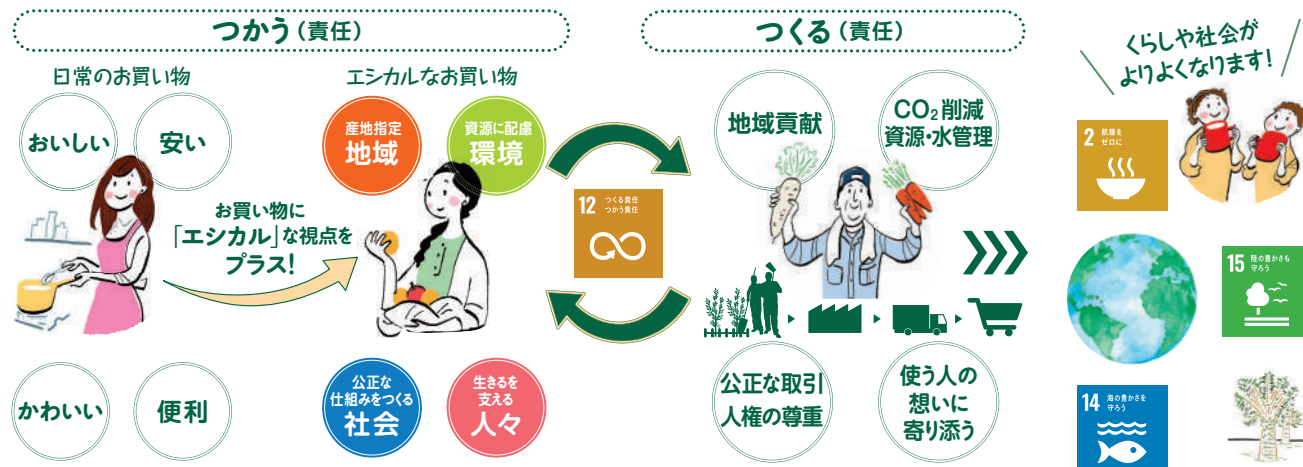
エシカル消費はSDGsの17の目標を実現するための重要な手段の一つなのです。



|| エシカル消費とは?

エシカル消費とは、買い物をするときに自分視点だけでなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費のことです。生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。

「エシカル消費」とは、「誰かの笑顔につながるお買い物」



もし、大多数の消費者が「エシカル」な価値を求めるとなったら…
提供する側も、「エシカル」な商品やサービスに変わっていきます

未来へ続く世界の実現のために私たち生協は、エシカル消費に積極的に取り組んでいきます。

コープ商品
エシカル

コープ商品は長い歴史の中でエシカル消費に向き合ってきました。

生協の歴史とエシカル消費



そして今、コープ商品が取り組むエシカルの主なテーマは次の5つです。

1 海のエシカル



2 森のエシカル



3 プラスチック問題のエシカル



4 産地と生産者を応援するエシカル



5 一人ひとりが輝けるためのエシカル



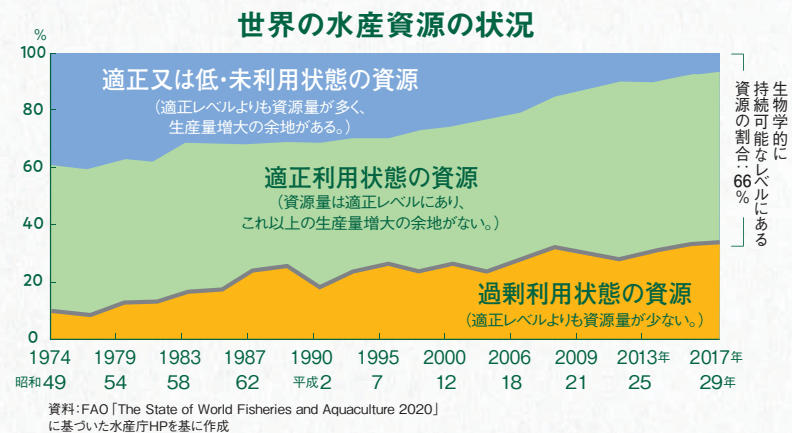
海の エシカル



海の恵みは私たちの毎日の食卓に欠かせません。その海の恵みを、未来の子どもたちまでつなげていくためのコブ商品の取り組みを紹介します。

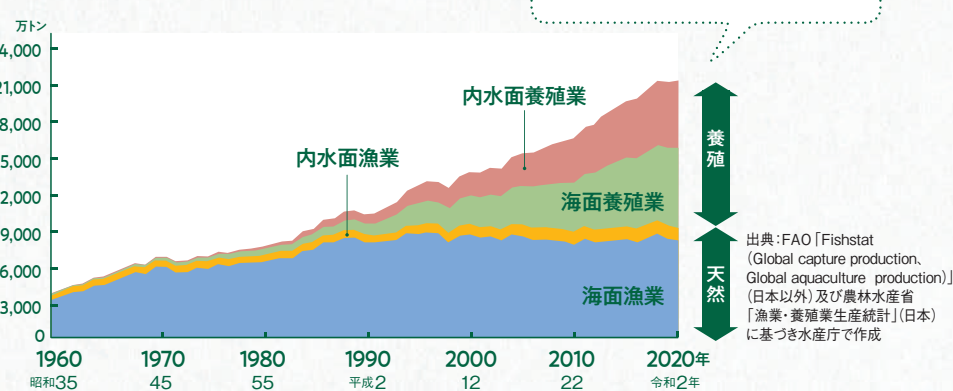
水産資源の問題

世界の水産資源の現状は、約35%が過剰利用、約60%がこれ以上漁獲を増やせない状態です。今後、水産物需要は、人口の増加、健康志向などにより増加すると予測されており、水産資源の減少が加速する可能性があります。



世界の漁業・養殖業生産量の推移

世界的には、養殖業生産量が伸長し、近年では漁船漁業生産量を上回りました。しかし、養殖業は、海洋および周辺の環境への影響や、エサとなる天然魚の資源への影響があります。養殖業に関わる人々の労働条件など、社会的な問題を抱えることもあります。



水産資源を守るには

- 1 漁業においては、魚をとりすぎないようにルールを定めしっかり守ること、海の環境を傷つけないようにすること

世界の取り組みの例

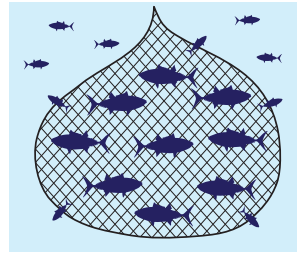
科学的な資源評価による漁獲の規制
資源量を維持するために、科学的な資源評価に基づいて、漁獲可能性を決定します。



禁漁海域の設定や混獲の抑制
産卵場周辺などの禁漁海域を設けます。目的外の魚や生物の「混獲」を監視するなどにより抑えます。



漁具についての規制
今後成長する若い魚を残せるように、網目のサイズを一定以上にするなどの規制を設けます。



大きな網目だと、小さな魚が逃げる可能性があります。

- 2 養殖業においては、エサとなる天然魚の持続的な利用や薬剤使用にも配慮して、水質や海洋環境への影響を抑えること

- 3 持続可能で適切に管理された水産物を、消費者が選ぶこと

漁業

MSCとは | 海の恵みを未来に残す 漁期や漁獲量などを管理し、水産資源を守ります。

MSC (Marine Stewardship Council: 海洋管理協議会) は、水産資源を枯渇させないよう、持続可能で環境に配慮した漁業とそうした漁業で獲られた水産製品の流通に関する認証制度を管理・推進する非営利団体です。MSC「海のエコラベル」は、海や環境に配慮して獲られた水産物につけることができます。



MSC「海のエコラベル」
持続可能で適切に管理された漁業で獲られた水産物につけられる認証ラベルです。



MSC 漁業認証の3原則



新しい認証が仲間入り

**2023年よりアラスカの持続可能な漁業で
漁獲された原料を使用する魚卵やサケ・マス
商品にアラスカRFM認証のロゴをつけていきます。**

※注:RFMのCoC認証を取得している製造者の商品のみが対象となります。



アラスカRFM認証とは

RFM (Responsible Fisheries Management: 責任ある漁業管理) 認証は、アラスカで開発された天然の水産資源を漁獲する漁業に対する認証プログラムです。アラスカの責任ある漁業管理のもと持続可能な漁業で漁獲された認証水産物であることを示します。

RFM認証漁業規準の4つの要素

- 1 漁業管理制度
- 2 科学と資源評価活動、そして予防措置的なアプローチ
- 3 管理の手法、実施、そして監視と取締り
- 4 漁業が生態系に与える影響

～アラスカのサケ・マス漁業の場合～ (MSC認証とRFM認証を受けた漁業)



- 1 アラスカの漁業は、「生態系に悪影響を与えないこと」「乱獲をしないこと」をルールとしています。



- 2 科学オブザーバーが乗船し、漁業関連資料やデータを収集し、規制違反がないことを確認します。

- 3 水揚げから商品製造までの各段階で、認証水産物と非認証水産物を確実に分けて管理することで、認証ラベル・ロゴをつけることができます。

漁業 養殖

MELとは

日本の水産業と魚食文化の発展のために
海の環境や資源にやさしい日本の水産物です。

マリン・エコラベル・ジャパン(MEL)は、国際的に認められている日本発の水産エコラベル認証制度です。水産資源の持続性と環境に配慮している日本の事業者(漁業・養殖業)を第

三者が審査し認証します。その水産物を使用して流通・加工する事業者も認証を必要とします。それらを経て水産物にMELのロゴマークを付与し、消費者に届ける仕組みです。



MEL 認証

商品の一例



CO-OP ふっくらしらす干し



人気のふっくらしらす干しシリーズが MEL 認証ロゴ付きで発売中!

原料のカタクチイワシの稚魚(しらす)を漁獲する漁業者が、資源評価や漁獲状況とともに操業日や操業時間などのルールを決めて守ることで資源を管理しています。



MEL 漁業認証の3原則



MEL 養殖認証の4原則



養殖

BAPとは

魚と人の未来のために
環境や社会にやさしい養殖魚介類です。

BAP(Best Aquaculture Practices)認証は、養殖魚介類のふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場を対象とし、その全ての段階において環境や社会への責任、養殖される魚介類の健康、食品安全を保証する認証制度です。



BAP 認証



CO-OP スモークサーモン
トラウト切り落とし



BAP 認証4つの柱



養殖

ASCとは

環境や地域社会に配慮した養殖
責任ある養殖業への改善を進めます。

ASC(Aquaculture Stewardship Council: 水産養殖管理協議会)は、WWF(世界自然保護基金)とIDH(オランダの持続可能な貿易を推進する団体)の支援のもと、2010年に設立された、独立した国際的な非営利団体です。環

境と社会に配慮した責任ある養殖業を推進することを目的としています。



次世代につなげる養殖業
ASC-AQUA.ORG

ASC 認証



商品の一例



CO-OP 殻ごとカリッと
えびソテー
(ガーリック&ハーブ)

責任ある養殖のための7つの原則

- 1 法令順守 > 該当するすべての国際、国内、地方的法的必要条件と規制の順守
- 2 環境と生態系 > 自然環境、地域の生物多様性、生態系の構造と機能の保全
- 3 天然個体群への影響 > 天然個体群の健康および遺伝的健全性の保護
- 4 資源利用 > 自然環境の保全上、効果的かつ責任のある手法での資源利用
- 5 病気の管理 > 養殖魚の健康と福祉の率先した管理と疾病の伝染リスクの最小化
- 6 労働と人権 > 責任ある労働環境をもった養殖場の運営
- 7 地域社会 > 地域の一員として良識的かつ誠実であること

ASC基準の基本7原則。基本的にこれら7原則に基づいて、各種群ごとに詳細な判定基準が定められている。

養殖

インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクトとは

おいしいブラックタイガーをいつまでも食べられるように 環境と社会に配慮したエビ養殖業への改善を進めます。

日本生協連は、ブラックタイガーの主な産地であるインドネシアにおいて、2018年7月から2021年6月までの3年間、「スラウェシ島エビ養殖業改善プロジェクト」(第一期)を進めてきました。これは、日本生協連、WWFジャパン、WWFインドネシアとBOMAR社(ブラックタイガー商品の主なメーカー)の協働による、環境と社会に配慮した責任ある養殖業への転換に向けた取り組みです。2021

年7月より第二期の「インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクト」を開始し、第一期の活動の継続のほかに、MISAJA MITRA社(ジャワ島)とのブラックタイガー養殖業の改善、天然の親エビ資源の持続可能性を課題に加え、取り組みを拡大しています。



ブラックタイガー養殖業改善協力金とは?

上記の「エビ養殖業改善プロジェクト」に対して、コープのブラックタイガーを使用した商品の購入を通じて寄付をする取り組みが、2019年3月よりスタートしました。

1 粗放養殖マークのついたブラックタイガー商品を購入。

自然の恵みでのびのび育った粗放養殖をほうようしよく

粗放養殖マーク

3 寄付金は、以下のような活動に使われます。

- 養殖池周辺の環境改善を目指したマングローブの再生
- エビ生産者への持続可能なエビ養殖に関する研修
- 環境配慮型の養殖に必要な水質管理

2 「ブラックタイガー養殖業改善協力金」として寄付。

対象商品の一例

大きなご馳走えびフライ

1点あたり円寄付します

2022年度(2022年3月21日~2023年3月20日) 全国の生協での協力金総額

1月度までの途中経過

597万8,031円



森のエシカル

©WWF IndonesiaAntonius



©WWF Japan

森は生物の大切な住み家であり、木材や食糧、水や空気など生物が生きるために欠かせない多くのものを与えてくれます。森を守り続けるためにできること、コープ商品を通じて一緒に考えてみませんか？



森林資源の問題

森林破壊、気候変動、生物多様性

ほぼ100年の間に人類は森林を急速に開発し、世界中で多くの森が失われてしまいました。森林を保全しながら、森からの恵みを持続可能な形で利用できる社会を目指すことが

大切です。このことは人間同様に森からの恵みを得ている生物たちの多様性を守り、ひいては地球温暖化などによる気候変動を抑えることにもつながっています。

森林資源を守るには

- 1 森林の手入れ・植林、貴重な自然林の保護など、適切な管理を行うこと
- 2 貴重な紙資源を再利用すること
- 3 適切に管理された木材や再生紙で作られた製品を消費者が選ぶこと



保護価値の高い森林や生物多様性の保全に配慮



地元の住民や働く人の権利や労働環境への配慮



持続可能な森林経営

レインフォレスト・アライアンスとは

森林の自然環境を守り働く人を応援する森林を守り、農園の労働環境の向上を目指します。

レインフォレスト・アライアンスは、ビジネス、農業、そして森林が交差する場所で活動する、国際的な非営利団体です。責任あるビジネスを新しい常識とすることで、人と自然にとってより良い未来を創ることを目指しています。

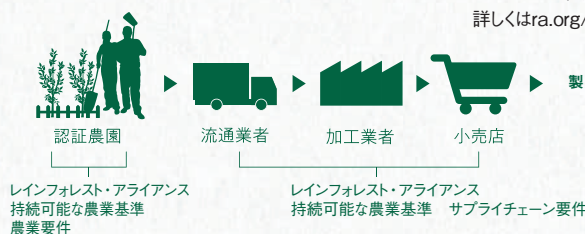


レインフォレスト・アライアンス認証

人と自然にとって、より良い未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマークです。詳しくはra.org/jaをご覧ください。



レインフォレスト・アライアンス認証は、より持続可能な農業に取り組む認証農園産の原料やその製品であることを意味します。



FSC®とは 森の恵みを未来に残す

将来世代のために、森を大切にすることをお手伝いをします。

FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする独立した非営利団体で、国際的な森林認証制度を運営しています。FSC認証は、適切に管理された木材と責任ある調達をされた製品を確実に消費者に届けることで、森林資源の保全を消費者が支える仕組みです。



画像協力・日本テトラパック(株)



FSC認証

森林の環境や地域社会に配慮して作られた製品であることを示すマークです。

商品の一例



未晒キッチンペーパー



ティッシュ

紙容器がFSC認証品です



ミックス キャロット



アーモンド リーフ



減塩即席みそ汁 いろいろ30食 (生みそタイプ)

FSC認証のしくみ



森林



製材所



工場



加工



小売店



責任ある森林管理のマーク

森を守る基準があります (FM認証)

森から家庭まで確実に届けます (CoC認証)

製品に認証マークが付きま

スマイルグリーンプロジェクトとは

ブラジルの森林再生を支援する ブラジルのアトランティックフォレストで実施されている森林再生などの活動を支援するキャンペーンです。



2022年11月よりスタートした取り組みです。CO・OPティッシュ、芯なしトイレトペーパー(コアノンシリーズを除く)を1パックご購入いただくごとに1円がWWFジャパンを通じてブラジルに寄付され、WWFが推進するブラジルアトランティックフォレストの森林再生活動などを支援します。

第1期 キャンペーン期間: 2022年11月1日~2023年10月31日(通年)

- 取り組み内容
- 1 CO・OPティッシュ、芯なしトイレトペーパー(コアノンシリーズを除く)いずれかお買い求めください
 - 2 1パックにつき1円をWWFジャパンを通じてブラジルに寄付
 - 3 森林を再生し、人と自然、動物たちが共存できる環境づくりに使われます

失われた森の再生

ブラジル大西洋沿岸部のアトランティックフォレストは、森林伐採と開発が進み、現存するのは元の森の約12%。本プロジェクトでは、植林や適切な管理により3年間で約45ha(東京ドーム約9個分)の森林再生を目標としています。

森に生きる動物たちを守る

この森は固有の動植物が多数みられる、生物多様性の宝庫です。森を守ることで、これらの固有種を絶滅の危機から守り、生態系を維持することにつながります。



© natureplcom / Edwin Giesbers / WWF



© Michel Gunther / WWF

人と森が共存できる土地利用

地域住民の暮らしやすさも配慮し、自然を保全する場所と人が利用する場所とのバランスを考え、計画していきます。



森林を再生する場所と、暮らしの中で利用する土地が共存



対象商品の一例



ティッシュ



未晒し原料を再利用したトイレトペーパー



ワンタッチ芯まどロール

RSPOとは

「持続可能なパーム油」を目指して
私たちの生活を支えるパーム油の、
持続可能な調達を応援します。

RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil: 持続可能なパーム油のための円卓会議)は持続可能なパーム油の生産・製造・流通・消費を目的とした非営利組織です。

パーム油とは

熱帯で育つアブラヤシの実から採れる油で、日本で使われる植物油の1/4がパーム油といわれています。

ポテトチップスやパン、即席めんなどの食品、石けん、洗剤、化粧品など、幅広く使われています。



RSPO 認証
コープ商品では、パーム油原料のアブラヤシ産地で生じているさまざまな問題の解決を目指すRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。

パーム油の原料であるアブラヤシの生産をめぐる、さまざまな問題があります。

自然破壊・生態系の劣化

農園開発のための熱帯林伐採や焼失
野生動物や生物多様性への影響

環境汚染

土壌・水・大気
の汚染

労働問題

農園での劣悪な
労働環境や人権侵害

土地紛争

先住民地域住民
への影響・負荷

・コープ商品初のセグリゲーション(SG)ランク認証商品

・使用している原料マーガリンにSGランクのRSPO認証パーム油使用



CO-OP & MANTINGA
バター入りハーフバゲット



CO-OP & MANTINGA
ミニフレンチロール

SG [セグリゲーション]

複数の認証農園から得られた認証油からなり、非認証油とは混ぜ合わされることなく、認証油が最終製品製造者まで受け渡される認証モデルです。生産農園を1つに特定できませんが、認証農園から生産された原料のみであることが保証されます。

・麺フライ油、揚げ油にRSPO認証パーム油使用 (マスパランスオイル)



CO-OP
ヌードルしょうゆ

MB [マスパランス]

製造過程で、認証油と非認証油が混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んではいますが、購入した認証油の数量は保証されています。

商品の一例



CO-OP
海老・いか
かき揚げ5種の
国産野菜入り

コープの洗剤環境寄付キャンペーンとは

インドネシア各地の小規模パーム農園の持続可能な生産などを推進するプロジェクトを支援します。

日本生協連は、2018年からWWFジャパンを通じ、インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農家などが適切な農園管理方法を学び、生産性を高める活動を支援してきました。2022年度からは、従来の小規模農家支援に加え、

より広範囲で多くの農家がサステナブルな農業を営むようになり、熱帯林破壊が抑止できるよう、地方自治体への働きかけを強化します。また、この活動をインドネシアの他の地域へ広げていくことを目指します。



独立小規模農家と森林破壊のメカニズム



支援を通してできる活動の例

- 1 保全すべき森を住民で守るトレーニング
- 2 農家の生計が向上する仕組みづくり
- 3 地方自治体の政策策定支援

2023年度キャンペーン期間: 2023年5月21日～2024年5月20日(通年)

取り組み内容

- 1 対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき0.5円をWWFジャパンに寄付
- 3 持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります。

2021年度(2021年5月21日～2022年5月20日)
全国の生協での寄付金総額
322万275円

プラスチック問題のエシカル



再生を待つ回収ペットボトル
協力: 東京ペットボトルリサイクル(株)

プラスチックの「その後」が今、大きな課題となっています。便利のその先を見据え、プラスチックとどう向き合うか、コープ商品はできることから取り組みを始めています。



プラスチックの環境問題

軽く丈夫で、コストが安く加工しやすい特徴を持つプラスチックは、自動車から医療機器、食品包材まで、あらゆるものに使われています。プラスチックは石油から作られ、燃やせば温室効果ガスである二酸化炭素を発生しています。私たちの暮らしの中にすっかり定着したプラスチックを削減することは簡単ではありませんが、地球環境の持続可能性を考えると、「脱プラスチック」社会へ向かっていく必要があります。また、プラスチックは分解性が低い

ため、自然界に放出されると川などを経て海に流れ込みます。海岸の景観を損ねるだけではなく、海洋生物が誤飲して死に至ることもあります。さらに、マイクロプラスチックによる生態系などへの影響も懸念されています。

ます。こうしたプラスチックの環境問題への対応は喫緊の課題であり、2022年4月には設計、販売、リサイクルまでのライフサイクル全体を対象とした「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。

プラスチック包材は食品の保存性を高めるなどの大きな利便性があります。

燃やせばCO₂の増加に、捨てれば海洋プラスチックごみの原因に。

私たちが環境に配慮した利用(リユース・リサイクルなど)をすることにより、限りある天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らすことが大切です。

プラスチック包材の環境問題に対応するには?

つくる側

リデュース 使用量削減

包材を「省く」(袋内のトレイをなくす)「小さくする」「薄くする」



CO-OP
ただの炭酸水
(天然水使用)



リユース 繰り返し使用

洗剤・シャンプーなど、詰替用規格の配置



CO-OP
セフターENERGY
(エナジー)
抗菌・防臭 詰替用



リサイクル 再資源化・再生

回収ペットボトルなど、再生資源を原料とする包材の利用を推進



CO-OP
ビーフカレー
中辛



バイオマス 植物由来素材利用

植物由来プラスチックの利用を推進



CO-OP
リッチブレンド
レギュラー
コーヒー

つかう側

プラスチックと賢く付き合ひましょう

リデュース 少なくする

ごみを減らす

- ・マイボトル、マイカップ、マイバッグを使用する
- ・過剰包装を断ろう

リユース 再使用する

繰り返し使用する

- ・修理して使う
- ・リユース食器を使用しよう
- ・人に譲る

リサイクル 再生利用する

なるべく捨てない

- ・再生素材を使用したものを買って資源を循環させよう
- ・リサイクルできるものは分別して出そう



生協で回収したペットボトルを

包材の再生プラスチックの一部に使用します！

生協で回収したPETボトルをコープ商品の軟包材へとリサイクルしていく取り組みを全面的に拡大していきます。2023年3月よりレトルトビーフカレーへ広げ、その後PETボトルから再生したフィルムを使用している包材全体へと拡大していきます。

CO-OP ビーフカレー



ビーフカレー 辛口

CO-OP



ビーフカレー 中辛

CO-OP



ビーフカレー 甘口



このフィルムが使用されるコープ商品の軟包材については、「生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています」との表示を入れていきます。



生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています。

生協で回収したPETボトル
再生利用のながれ



再生プラスチックを使用したペットボトルになりました！

これまでも「ただの炭酸水シリーズ」は、ボトルの軽量化やラベルの削減を進めてきましたが、2022年6月より使用済みペットボトルをリサイクルした原料を96%使用したボトルに変更しました。

CO-OP ただの炭酸水

CO-OP ラベルのないただの炭酸水

CO-OP ただの炭酸水レモン風味 など



ただの炭酸水
(天然水使用) 500ml



ラベルのないただの炭酸水
(天然水使用)
500ml×6本パック



ただの炭酸水レモン風味
(天然水使用) 500ml

エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>

再生プラスチックを使用したペットボトル
飲料としてエコマーク
認定を取得

年間約647トン[※] の石油由来 プラスチックを削減

※2021年3月21日～2022年3月20日
の出荷実績2,803万本で試算



植物由来プラスチックを包材の一部に使用しました！

とんかつなどのパッケージの一部を、
植物由来プラスチックに変えました。

植物由来プラスチックは原料作物の生育過程で
CO₂を吸収していますので、CO₂の増加を抑制できます。

CO-OP レンジでサクッとローズとんかつ

CO-OP (レンジで簡単) 銀座梅林のヒレカツ

CO-OP 衣サクサクやわらかとんかつ など



CO-OP レンジでサクッと
ローズとんかつ



CO-OP (レンジで簡単)
銀座梅林のヒレカツ



CO-OP 衣サクサク
やわらかとんかつ

エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>

年間約6.3トン[※]の石油由来 プラスチックを削減

※2022年度に植物由来プラスチックを使用した、とんかつなど15品の
2021年12月21日～2022年12月20日の実績による

紙トレイは
FSC[®]
認証紙へ

(とんかつなど
15品中13品で)
エコマーク
認定を取得



いろんな工夫でプラスチック使用量を減らしています！

ボトル軽量化とラベルをハーフラベルへ



CO-OP 有機栽培
グリーンレイボスティー 600ml

年間約
10.3トン[※]
のプラスチック削減

※2021年12月21日～
2022年12月20日の実績による

あわせて再生PET
100%ボトルに

2023年5月には18.0gにさらに軽量化予定！

ふっくら卵のオムライス2食入の外袋廃止
⇒テープ留めに



CO-OP ふっくら卵の
オムライス
2食入

袋に入っていたのを、
テープで巻く形態に
変更しました。

年間約19.3トン[※]
のプラスチックを削減

※2021年3月～2022年2月の販売実績で試算

ロールパンなどのクローガー廃止・
おでんなどの巾着廃止

ブラウンサーブロールなど、ロールパンのクローガーを廃止し、
袋のサイズを縮小しました。



CO-OP ブラウンサーブロール
クルミ(半焼きタイプ)

ブラウンサーブロール7品で
年間約2.7トン[※]
のプラスチック削減

※2021年12月21日～
2022年12月20日の実績による

さつまあげとおでんの一部で、包装形態を巾着から
ビローへ変更し、袋のサイズを縮小しました。



CO-OP さつまあげ

1個あたり約1.3g
重量削減
⇒ 年間約1.6トン[※]
のプラスチックを削減見込み

※2021年12月21日～2022年12月20日実績より試算

紙容器化

年間約51トン[※]
のプラスチック
を削減

※2020年度の供給実績より試算



CO-OP 濃い
トマトジュース



CO-OP 冷蔵庫用脱臭剤

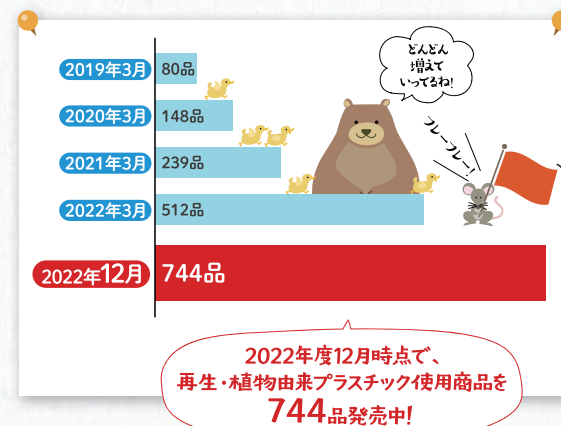
年間約15トン[※]
のプラスチック
を削減

※2021年度の出荷実績より試算

2022年10月に

「コープ商品プラスチック環境 対応レポート」をオープンしました！

このページでは、包材の一部に再生プラスチック・植物由来プラスチックを使用した商品点数の進捗を毎月報告し、その他にもサステナブルニュース、プラスチックやリサイクルに関わるQ&Aを毎月更新していきます。ぜひご覧ください。

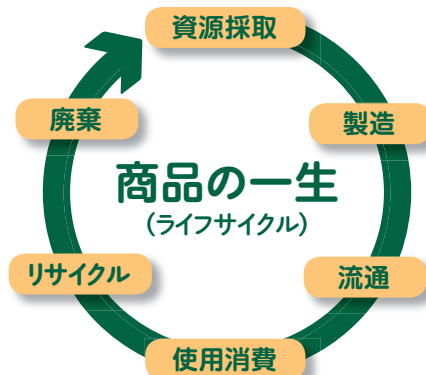


<https://goods.jccu.coop/report-plastic/>

COLUMN

エコマークとは 地球をきづかう

エコマークは、公益財団法人日本環境協会が国際的な規格に基づいて運営し、さまざまな商品（製品およびサービス）の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられる環境ラベルです。



エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>

【エコマーク商品例】

森

古紙パルプ

回収古紙や牛乳パック類より再生したリサイクルパルプを100%使用



co-op
やわらかワンタッチ
コアノン シングル

プラスチック

再生プラスチック製品

回収したペットボトルなどを原料としてつくられたゴミ袋



co-op
再生原料使用
水切りゴミ袋
三角コーナー用

再生プラスチック容器

回収したペットボトルなどを原料のトレイ・ふたの一部に使用



co-op
無着色ひとくち辛子
明太子(切子)

植物由来プラスチック包装

植物由来プラスチックをパッケージの一部に使用



co-op
コーヒーバッグ
オリジナルブレンド

産地と生産者を を応援する エシカル



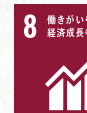
国 内の生産者は、後継者不足や気候変動の影響を受けながら生産を続けています。そして地域の生態系を守りながら生産をしている有機JAS。コープ商品を通じて産地と生産者を応援します。

国内 地域

産地指定

日本の農畜水産業を応援

生産者と組合員をつなぎ、よりよい商品を届けます。



産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用した商品にマークをつけています。



1 産地(生産者または生産者団体)指定で栽培管理が明らか



2 産地の訪問点検により、品質・安全性の確認ができる



3 産地とのコミュニケーションがとれる

被災地の生産者や地元の方々を応援する 「CO・OP三陸産茎わかめ」

「CO・OP三陸産茎わかめ」は、シャキシャキ、コリコリとした食感の三陸産の茎わかめを調味した、組合員に人気の商品です。2011年3月の東日本大震災の影響で一度は三陸産わかめの供給はストップしましたが、産地の復興が進んだことから2013年3月に復活を遂げました。

わかめ生産者の村上哲也さんは「震災でわかめの生産が駄目になり、息子は漁師を辞め関東で就職しました。ですが、わかめの生産が復活し、茎わかめの安定した供給が可能となり、息子も後を継ぐ予定です。仕事があれば地域の後継者育成も進むと思います」と話してくださいました。



岩手県大槌町にある工場では50人近くの地元の方々が働いています。



co-op
北海道の
そのまま枝豆



岩手県大船渡市でわかめを生産する村上哲也さん

商品の一例



co-op
三陸産茎わかめ



co-op
三陸産茎わかめ
(梅しそ味)

オーガニックとは

手間ひまから生まれる「安心」
環境への負荷を減らしたオーガニックな農産物からつくられました。

12 つくる責任
つかう責任

オーガニックとは「有機」や「有機栽培」のこと。農薬や化学肥料に頼らずに土壌の力を生かし、環境の負荷をできるだけ少なくする農法のことです。コープ商品では、こうした「有機」の認証を受けた原料を使用した商品をオーガニックシリーズとしてご案内することで、手間ひまをかけて有機栽培に取り組む国内外の生産者を応援しています。

CO・OP有機栽培 ルイボ스티ーの産地

「赤い茂み」を意味するルイボスは、南アフリカの最南端・喜望峰の北360kmセダルバーグ山脈だけに生育する豆科の一種(学名:アスパラサスリネアリス)です。毎年種をまき、夏の時期に手摘みで収穫。有機JAS認定工場へ運び、カット、洗浄、水かけ後に発酵。南アフリカの強い太陽の光で乾燥させ、高圧蒸気で殺菌してお茶に加工しています。



オーガニック
(有機野菜)

商品の
一例



CO-OP 有機栽培 ルイボ스티ー
(ティーパック)



厳しい気候の高山地帯に広がる茶畑。



ルイボ스티ー(アスパラサスリネアリス)の枝。先端の葉を摘み取りお茶にしています。

COLUMN

国産素材

主要な原材料に国産素材を使用している商品にマークをつけています。組合員からのお問い合わせで多いのは「原料は国産ですか」というもの。「わかりやすいマークをつければ、国産原料を使った商品の利用が広がり、日本の農畜水産物を応援することができるのでは」そんな想いを込めました。

商品の
一例



CO-OP 大豆ドライパック



CO-OP 素材こだわり
国産鶏ささみジャーキー
ハード ※愛犬用おやつ

国産フクユタカ大豆を使用

国産大豆「フクユタカ」(分別生産流通管理済み)から搾汁した豆乳です。国産大豆は、たんぱく質が豊富で、適度な甘味があるのが特徴。えびみや豆くささの出やすい外国産大豆を使った市販品も多いなか、コープでは、豆腐の素材としても使われる良質な大豆を選び、大豆の自然なおいしさを生かした豆乳を提供しています。



CO-OP 国産大豆の
無調整豆乳(フクユタカ)

一人ひとりが
輝けるための
エシカル

国内 人々

ピンクリボン運動
キャンペーンとは

乳がんで悲しむ人をなくしたい
乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます。



3 すべての人に
健康と福祉を

日本生協連は、認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)の「ピンクリボン運動」に賛同し、2017年10月よりサポーターとなりました。キャンペーンを通して、J.POSHの推進する啓発や助成などの種々のプログラムを応援するものです。



キャンペーン期間:2023年9月1日~10月20日(期間限定)
※カタログ「くらしと生協」は通年予定。

対象
商品の
一例



カタログ「くらしと生協」
ブラジャー全種
コープ化粧品
シリーズ全品

取り組み
内容

1 対象商品いずれかを
お買い求めください

2 1品につき1円を
J.POSHへ寄付

3 乳がんに対する
啓発と患者や家族の
支援を進めます

2022年度全国の生協での寄付金総額
コープ化粧品 109万598円
くらしと生協 41万8,841円

障害者ノルディックスキー
応援キャンペーンとは

困難を乗り越え挑戦する人々を応援したい
「障害者ノルディックスキー」の日本ジュニアチームをサポートします。

3 すべての人に
健康と福祉を

2017年9月よりスタートした取り組みです。対象商品を1点お買い上げいただくごとに1円が、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担うジュニアチームに寄付されます。



障害者ノルディックスキーチームとは

競技力の向上と、同競技の振興と普及を図ることを目的として活動する「日本障害者スキー連盟」のナショナルチームです。「障がいのある方や子どもたちに、クロスカントリースキーやバイアスロンの楽しさを知っていただき冬も健康な体づくりを目指してほしい」という願いのもと、活動しています。



パラノルディックスキー日本チーム
荒井GMからメッセージ

寄付金は、これからクロスカントリースキーを始めた子どもたちへの支援と車椅子使用の子どもたちが乗る「シットスキー」の購入にも充てたいと考えています。障害があってもスキーや雪遊びをする子どもたちの歓声が聞こえてきます!皆様の応援、心から感謝しております。



シットスキー体験会(2022年)

対象
商品の
一例

CO-OP 応援食
ココアクッキー+
鉄分&たんぱく質



キャンペーン期間:
2023年3月21日~2024年3月20日(通年)

取り組み
内容

1 対象商品いずれかを
お買い求めください

2 1品につき1円を
日本障害者
スキー連盟に寄付

3 寄付金は「障害者ノルディックスキー
日本ジュニアチーム」の
活動資金として活用されます

2022年度(2022年3月21日~2023年3月20日)
全国の生協での寄付金総額
1月度までの途中経過
49万7,724円

海外 社会

CO・OP×レッドカップ
キャンペーンとは

飢餓に苦しむ子どもたちに給食を
学校に行けば食べられる、学べる。



飢餓から救う。
未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画



2014年10月よりスタートした取り組みです。飢餓に苦しむ子どもたちに、学校給食を届けるため、国連WFP協会を通じて寄付をするキャンペーンです。2023年から始める第4期は、第3期に引き続きミャンマー連邦共和国を支援します。

キャンペーン期間：2023年10月1日～11月10日（期間限定）



国連 WFP 協会とは

飢餓のない世界を目指し活動する国連機関の日本における民間窓口です。

TOPICS

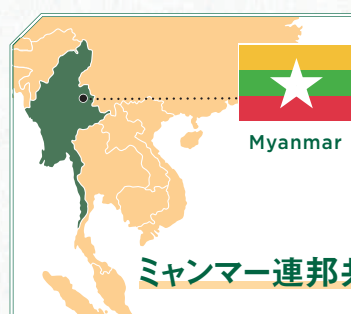
支援でできること

- 給食が食べられることで栄養が改善され就学率のアップにつながる
- 出席率が高い子どもたちには持ち帰り食料を支給。女子児童の就学率アップにつながる
- 学校給食の材料を地元の農家から調達することで農家への経営支援につながる
- 学力を身につけた子どもたちは、さまざまな未来を切り開いていく



世界の飢餓問題について

世界には、すべての人が食べるのに十分な食料があります。しかし現在、世界では最大8億2,800万人、10人に1人が飢餓に苦しんでいます。



ミャンマー連邦共和国ってどんな国

2021年2月の軍事政権発足後、ミャンマーは政治的・社会経済的に複雑な問題に直面しており、食料不足が深刻化しています。

- 国民の約40%が貧困ライン以下で生活しており、10年近く続いた貧困削減の進展が帳消しに
- 武力衝突、経済破綻、食料価格の高騰等の結果、1,320万人（人口の4分の1）が食料不足
- 5歳未満の子どもの3人に1人近くが发育障害（年齢に対し低身長）

出典：国連WFP

取り組み
内容

1 キャンペーン期間中
対象商品を
お買い求めください



2 1品につき1円を
国連WFP協会
に寄付

3 飢餓に苦しむミャンマーの
子どもたちに学校給食を
届けるために使われます

2022年度全国の生協での寄付金総額

609万8,543円

学校給食（1日約30円）を
およそ20万人へ届けることができました。

対象
商品の
一例

※対象商品は
変更になる場合があります



CO-OP
コープヌードル
しょうゆ



CO-OP
コープヌードル
シーフード



CO-OP
コーンクリーム
スープ・カップ



CO-OP
スープ
バラエティ
パック

コアノンスマイルスクール
プロジェクトとは

アンゴラの学校づくりを支援する
楽しく学べる環境づくりに役立ちます。



2010年11月よりスタートした取り組みです。「CO・OPコアノンロール」シリーズを1パックご購入いただくごとに1円がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付されます。

第13期キャンペーン期間：

2022年11月1日～2023年10月31日（通年）

第12期（2021年11月1日～2022年10月31日）
全国の生協での寄付金総額

1,431万4,320円

※日本生協連補填含む



アンゴラの子どもの状況

- 5歳未満児の死亡率
出生1,000人あたり75人
- 慢性的な栄養不良に
苦しんでいる5歳未満児の割合
子どもの38%
- 教育を受けていない
5人に1人の子ども



出典：世界子供白書2021

取り組み
内容

1 CO・OPコアノン
シリーズいずれか
お買い求めください



2 1パックにつき1円を
ユニセフを通じてアンゴラ
共和国に寄付

3

支援でできること



子どもたちが楽しく学べる環境づくり



教師の育成

安全な水の整備

フェアトレードとは

公正な取引で途上国の暮らしを支援する
公正な価格で取引されている商品です。

発展途上国の農産物や製品などを不当に安く買うのではなく、農家の生活が成り立つように考慮した「フェア（公正）な価格」で継続的に輸入し、消費する取り組みです。

途上国の生産者について

途上国の生産者の多くは情報や技術が少ないため、弱い立場におかれています。そのため苦しい生活からなかなか抜け出せません。

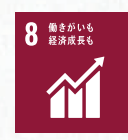
「最低基準価格」で生産者を守ります
「最低価格」とは、市場価格が下がっても、生産者から仕入れの際に保証している最低基準価格をいいます。生産コストをまかない、経済的・社会的・環境的に持続可能な生産と生活を支えます。

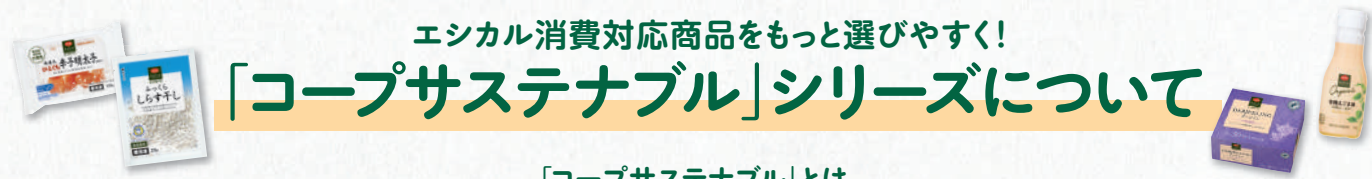


商品
の
一例



CO-OP
有機栽培
フェアトレードコーヒー
（グアテマラブレンド）





エシカル消費対応商品をもっと選びやすく！

「コープサステナブル」シリーズについて

「コープサステナブル」とは

認証マークの種類が増える中、共通のロゴマークをパッケージに表示し、組合員が売場で「見つけて選びやすく」しました。SDGs・エシカル消費の取り組みを一層発展させるため、「サステナブルな農林水産物および主原料がサステナブルな商品」を、「コープサステナブル」としました。

エシカル消費対応商品



コープサステナブル 4つのテーマ

海の資源を守る 主原料となる水産物はすべて、持続可能であると認証された漁業で獲られています。 該当する認証 MSC、ASC、マリン・エコラベル・ジャパン、BAP、RFM 商品の一例 無着色 ひとくち辛子明太子 ふっくら しらす干し	森の資源を守る 主原料は森林の適切な管理に配慮して作られた農林産物や再生紙を使用しています。 該当する認証 FSC、レインフォレスト・アライアンス、RSPO、エコマーク 紅茶TB ダージリン 未晒し原料を再利用したトイレペーパー	主原料は農薬や化学肥料に頼らずに、環境負荷の少ない農法で栽培されています。 該当する認証 有機JAS 有機えごま油 有機栽培ダージリンティーバッグ	リサイクル材使用 製品本体で認証を取得し、かつ環境配慮や省資源につながる使い方・用途を提案しています。 該当する認証 エコマーク 再生PET使用 つめかえボトル
--	---	---	--

(注1) フェアトレード認証品は、上記認証マークとのダブル認証となっている場合、いずれかのテーマ別ロゴを使用します。

(注2) 次の場合には、認証マーク付き商品でも「コープサステナブル」にはなりません。①FSC、エコマーク…容器包装のみが認証を受けている場合。②RSPO(MB)…副原料(3位以内5%以上に該当しない)に使用している場合。なお、マーガリン類については、油脂原材料の中で認証パーム油含有油脂が第1位ではなく補助的に使用されている場合も対象外とします。③RSPO(B&C)…日本生協連基準の定める環境配慮マークに該当しないため対象外。

組合員の声とエシカル消費の取り組み



コープ商品の2030年目標

日本生協連が2030年に向けた各原料資材など(農産、水産、紙・パルプ、パーム油、プラスチック、食品ロス)の持続可能な調達目標について定めたものです。

農産	■ 主要な農産原材料の産地を指定した仕様指定商品および生鮮農産物について、GAPを導入した生産者からの調達構成比を100%とします。海外農産物はGFSI認証スキームのGAP、国内農産物は国際水準GAPとします。(2021年度到達点:来年度より報告予定^(注)) ※農産部門海外農産物におけるGFSI認証スキームのGAP認証を取得した生産者からの調達構成比(金額ベース) ■ 輸入生鮮農産物における有機JAS、レインフォレスト・アライアンス認証品の調達構成比を45%以上とします。(2021年度到達点:37.5%^(注)) ※農産部門海外農産物における環境配慮商品(有機JAS/レインフォレスト・アライアンス)の供給高構成比(金額ベース)
水産	■ 水産物を主原料とする仕様指定商品および生鮮水産物について、MSC/ASC認証商品の拡大を重点に、GSSIが認定した認証スキームによる認証品の供給額構成比を50%以上とします。(2021年度到達点:9.5%^(注)) ※水産部門におけるMSC/ASCなどの水産認証商品の供給高構成比(金額ベース)
紙・パルプ	■ コープ商品に使用する紙(製品・容器包装・段ボール材)の100%を再生原料または森林認証品による調達原料とします。(2021年度到達点:87.5%^(注)) ※コープ商品全体に使用する紙(製品・容器包装・段ボール材)を再生原料使用またはFSC認証品の比率(重量ベース)
パーム油	■ コープ商品に使用するパーム油の100%を持続可能なパーム油認証品とし(2021年度到達点:100%^(注))、そのうち50%以上を物理的認証油の調達とします。(2021年度到達点:1.9%^(注)) ※RSPO認証パーム油(B&CとMBの合計)を原料に使用した商品比率
プラスチック	■ 容器包材のプラスチックを2016年対比25%以上削減します。(2021年度到達点:118%(前年比99.8%)) ■ 再生プラスチックと植物由来素材プラスチックの活用を進め、使用率を合計で50%以上とします。(2021年度到達点:4.3%)
食品ロス	■ コープ商品に由来する食品廃棄物を2018年度比で50%以上削減します。(2021年度到達点:26.6t)

(注)22年5月生協連適正農業規範(GAP)改定を踏まえて、作業を開始します。詳しくはこちらへ <https://jccu.coop/jccu/sdgs/#anc01>

私たちの身の周りにあるコープのエシカル

コープ商品のエシカル

エシカル消費

生協のエシカル

生協の事業・活動のエシカル

産地と生産者を
応援するエシカル



CO-OP 産地指定

CO-OP 国産素材

地産地消

産直



特別栽培農産物 生産者に対する表示		
化学肥料(窒素成分)：栽培期間中不使用	化学農薬：栽培期間中不使用	栽培期間中不使用
栽培方法	栽培期間中	栽培期間中
生産者	生産者	生産者
連絡先	連絡先	連絡先
住所	住所	住所
電話番号	電話番号	電話番号
連絡先	連絡先	連絡先



被災地支援



食育



障がい者支援

CO-OP

寄付金付き商品
応援食クッキー
障害者ノルディックスキー
応援キャンペーン

CO-OP

寄付金付き商品
ピンクリボン運動キャンペーン

一人ひとりが
輝けるための
エシカル



海の
エシカル

環境配慮商品

CO-OP

寄付金付き商品
ブラックタイガー養殖業改善協力金

自然の恵みで
のびのびとした
植栽栽培
を実現しています

エシカルな
商品を選ぶ

エシカルな
暮らし方を選ぶ



エシカルな
取り組みを選ぶ

くらしの助け合い活動

見守り

子育て支援

くらしを考える取り組み

平和の取り組み

CO-OP

寄付金付き商品
CO-OP×レッドカップキャンペーン

組合員

責任ある調達

国際支援



海や森を守る活動

エシカルな原料を
より分かりやすく！



プラスチック
のエシカル



リデュース・リユース・
リサイクル・バイオマス・省エネ



CO-OP

寄付金付き商品
コアノンスマイル
スクールプロジェクト



フェアトレード



森の
エシカル



CO-OP

寄付金付き商品
スマイルグリーン
プロジェクト



スマイルグリーン
プロジェクト



3-0098-17-100-00



ra.org/ja

寄付金付き商品
洗剤環境寄付
キャンペーン

